



**CSR
レポート
2013**



株式会社 富山環境整備

■目 次

会社案内	経営理念	02
	会社概要	02
	組織図	02
	富山環境整備の歴史	03
トップメッセージ		04
ハイライト		05
事業概要	事業活動全体図／リバースシステム	06
	廃棄物処理事業	07
	収集運搬事業／その他の事業	08
KPI		09
環境		11
社会		15
経済		18

■編集方針

【報告対象組織】

株式会社富山環境整備

【報告対象期間】

2011年11月～2012年10月
(一部対象期間外の活動も含む)

【発行時期】

2013年9月

【参考ガイドライン】

環境省「環境報告ガイドライン」
(2012年版)

【お問合せ先】

株式会社富山環境整備

総務部 総務課 谷口

〒939-2638 富山県富山市婦中町吉谷3-3
E-Mail:yoshitani@tks-co.jp
TEL:076-469-5356/FAX:076-469-5635



今回のCSRレポートの印刷・製本において排出されるCO₂排出量1.15kgに対して、カーボン・オフセットを実施してCO₂削減に貢献しています。



会社案内

■経営理念

感謝

今日あるのは、先人や会社に係る全ての関係者の皆様のおかげである。
これを基に感謝の心と高い徳性を持ち企業活動を行う。

共生

共に相手を認め、互いを必要とし、共に生かし合う関係をもって、
地域社会とともに繁栄し人々の幸福のために行動する。

公益

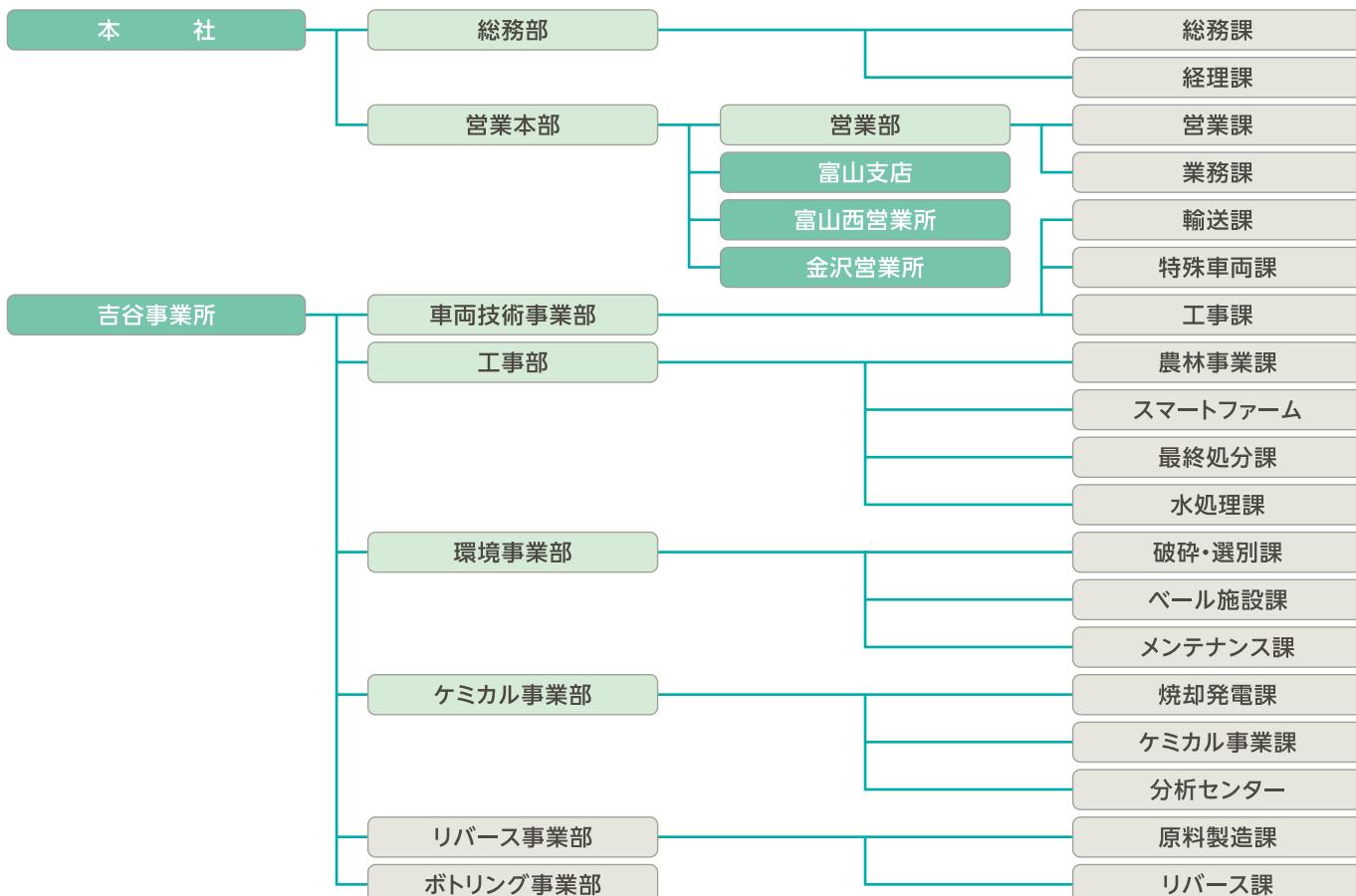
我々が行う事業活動は、国家・国益・社会益のために行い、
新しい公共の利益を創造する。

■会社概要

■社名	株式会社富山環境整備
■代表者	松浦 英樹
■設立	1972年10月
■資本金	2,000万円
■社員数	206名
■関連会社	坂本組株式会社 資源開発株式会社 株式会社クア・ソリューション 株式会社スマートフォレスト 株式会社万葉 NPO法人 安全企画センター

■所在地	●本社 富山県富山市婦中町吉谷3-3
	●富山支店 富山県富山市金屋3783-8
	●富山西営業所 富山県射水市黒河2164-1ガーデンハウス黒河101-2
	●黒部営業所 富山県黒部市萩生新堂7419
	●不二越東富山事業所 富山県富山市米田10
	●金沢営業所 石川県金沢市木越町ホ-68

■組織図





会社案内

■富山環境整備の歴史

- 1972年 トヤマロードサービス個人創業
- 1973年 有限会社富山環境整備に社名変更
- 1974年 産業廃棄物収集運搬業取得
- 1985年 産業廃棄物処分業取得
産業廃棄物最終処分場(旧処分場)設置
- 1988年 株式会社富山環境整備に社名変更
- 1992年 産業廃棄物最終処分場(第1期処分場)設置
- 1993年 産業廃棄物最終処分場(第2期処分場)設置
産業廃棄物圧縮・減容施設設置
- 1995年 一般廃棄物処理施設(選別・圧縮)設置
- 1996年 金沢支店(営業所)開設
- 1998年 産業廃棄物選別施設設置
- 1999年 産業廃棄物破碎・選別施設設置
- 2000年 一般廃棄物処理施設(圧縮・結束)設置
プラスチック再製品化施設「リバース工場」設置
汚泥・残土再資源化施設(選別・分級・脱水)設置
- 2001年 一般廃棄物処理施設(再材料化施設)設置
産業廃棄物再材料化施設設置
産業廃棄物圧縮・減容(ラージベール)施設設置
いちごハウス栽培開始
- 2002年 産業廃棄物最終処分場(第3期管理型処分場)設置
- 2004年 ISO9001-2000を車両技術事業部、環境事業部、リバース事業部で認証取得(JAB)
- 2005年 ISO14001-2004を吉谷事業所(現本社)、建設事業部全域で取得(JAB)
富山西営業所開設 ISO14001-2004適用範囲追加
- 2006年 エコスタッフ・ジャパン株式会社認定
- 2007年 生物処理・中和施設設置
- 2008年 キレート・吸着処理施設設置
発電併用焼却施設「リバースパワー」設置
- 2009年 特別管理産業廃棄物処理業取得
- 2010年 汚染土壤処理業取得
自動車リサイクル法施設認定
- 2011年 計量証明事業登録
優良産業廃棄物処理業者認定
(富山県 石川県 福井県 岐阜県 新潟県 産業廃棄物収集運搬業)
- 富山県 特別管理産業廃棄物収集運搬業
富山市 産業廃棄物処理業)
- 2012年 微量PCB汚染廃電気機器等無害化処理大臣認定
- 2013年 低濃度PCB廃棄物の無害化処理大臣認定



トップメッセージ

この度、富山環境整備で初めてとなるCSRレポート2013を発行させて頂く運びとなりました。
CSR(Corporate Social Responsibility)=企業の社会的責任を果たすために当社で
実施している活動について、多くの方々にご理解頂けますよう製作致しました。

当社は1972年(昭和47年)に道路整備業として創業し、1974年(昭和49年)に廃棄物処理業を開始しました。

創業当時から比べると、廃棄物は埋立・焼却から3R(リデュース・リユース・リサイクル)の時代へと大きく変化をしてきました。当社でも「リサイクル」としてプラスチック製の容器包装材をリサイクルしパレット(物流等に用いる荷物を載せるための荷役台)を製造する事業を始め、近年では処理困難な低濃度PCB廃棄物の無害化処理大臣認定を取得し、時代の変化に合わせた事業展開を実施しています。

こうした事業展開を実施できる今の富山環境整備があるのは、先代が創業し廃棄物処理業としての基礎を築いてきたおかげだと強く感じています。また、創業当時から地域の方々にはご理解を頂き、支えて頂きましたおかげで第40期を終えることができました。この地域で事業できることに感謝し、更に地域の皆様と共生しながらこれからも事業を続けてまいりたいと思います。

当社が1985年(昭和60年)に産業廃棄物の最終処分場を設置するにあたり、地域住民の方々と約束をさせて頂きました。それは「最終処分場の跡地利用」です。最終処分場として周辺地域の皆様にご迷惑をおかけしながらも共生し、埋立完了後の土地を地域資源として活用することで恩返しをしたいと考えております。そのために、農作物の試験栽培を2001年(平成13年)より開始しました。将来的には地場産業として確立する計画です。

当社の経営理念である「感謝・共生・公益」はいつの時代にも当てはまりゴールのないものだと考えます。そのため常に追い求め皆様のお役に立てるよう努めてまいります。



株式会社富山環境整備
代表取締役 松浦 英樹

ハイライト

「天空の杜プロジェクト」が始動しました!

平成25年9月9日、日本ユネスコ協会連盟との連携プロジェクト「天空の杜プロジェクト」の調印式を行いました。「天空の杜プロジェクト」とは、子どもたちの健康と命を守ることを目的に、当社ボトリング事業部で製造している「天空の杜」を安全な水が必要なカンボジア・シェムリアップ州の4つの病院と日本ユネスコ協会連盟が運営する教育施設「寺子屋」に提供するプロジェクトで、3年間にわたり合計155万本(約78万リットル)を発送予定です。当日は富山ユネスコ協会の松波孝之会長、日本ユネスコ協会連盟の寺尾明人事務局次長、同連盟カンボジア事務所ノン・ブッタ所長とともに当社ボトリング



工場にて会見を行いました。

今回の調印に先立ち5月にノン・ブッタ所長が当社に来社され、「天空の杜」の水源地視察を経て、この調印式を迎えることができました。富山滞在中には富山市中央小学校にて出前授業も実施し、小学生6年生55人を対象に、カンボジアの歴史や教育の現状などを紹介されました。

「天空の杜プロジェクト」の第一便は平成25年9月下旬に富山港出発を予定しています。本プロジェクトがカンボジアと日本の架け橋となり、カンボジアの持続可能な社会づくりに貢献できるよう尽力していきます。



「ボトリング事業部」がスタートしました!

2012年 富山市池多の呉羽南部企業団地に当社のボトリング工場を設立し、「ボトリング事業部」がスタートしました。

ボトリング工場では地元富山・立山連峰水源の新鮮な水を非加熱で加工し、原水の味わいを取り戻し、飲料水「天空の杜」を製造・生産しております。



2013年6月2日 富山県射水市で行われた「いっちゃん!リレーマラソン2013」では、当社社員も参加しながら、この天空の杜をランナーの皆様に無料で配布し、乾いたのどを潤して頂きました。

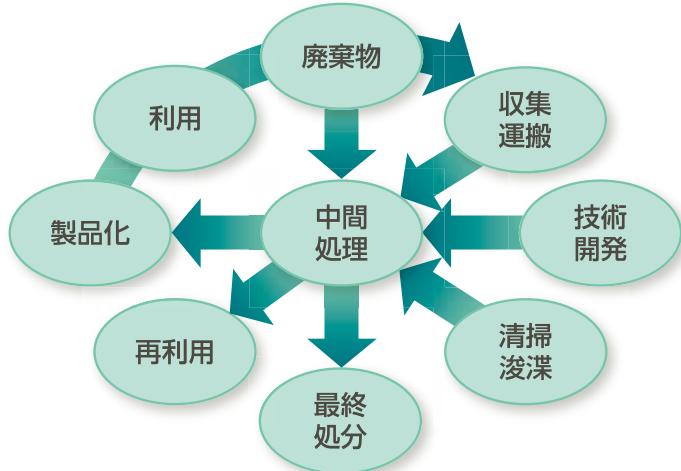
ボトリング事業部では、全国の皆様に富山の水を味わっていただけるよう展開していきます。



事業概要

富山環境整備の事業活動全体図

当社では、委託された廃棄物を適正に処理し、廃棄物の発生抑制・リサイクル推進を掲げ、地球環境に配慮しながら「循環型社会の実現」を目指しています。



リバースシステム(プラスチック製容器包装再商品化システム)

リバースシステム(Re-Birth System)とは、廃プラスチックの自己完結型リサイクルシステムです。容器包装リサイクル法の認定事業者である富山環境整備は、再商品化事業者として適正に容器包装材を再商品化し、同じ敷地内で再商品化製品利用事業者としてリバースパレットを製造しています。

また製品として出荷し廃棄になるパレットは、再度リサイクルされリバースパレットになります。資源の有効活用で循環型システムを自社内で形成している国内でも数少ないシステムです。



リバースシステム 原材料製造工場(再商品化事業者)

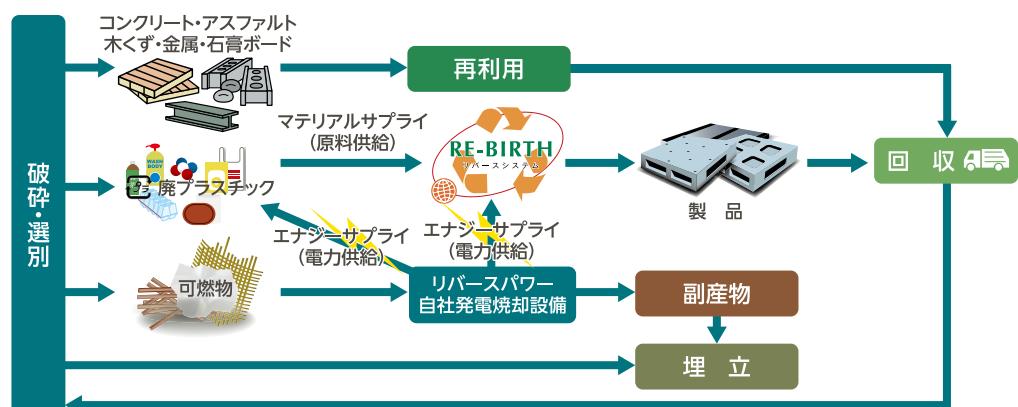


事業概要

廃棄物処理事業

一極集中型システム

産業廃棄物の選別から中間処理、最終処分まで、同じ敷地内において行っています。国内唯一の「一極集中型システム」により、高効率化・省エネルギー化を実現しています。



■産業廃棄物処分許可品目 計17品目

燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	紙くず
木くず	繊維くず	動植物性残渣	鉱さい	ばいじん	廃プラスチック
金属くず	ガラスくず、コンクリート及び陶磁器くず		がれき	ゴムくず	13号廃棄物

(自動車等破碎物、石綿含有産業廃棄物を含む)

■特別管理産業廃棄物処分許可品目 計7品目

廃酸 (腐食性、有害性)	廃アルカリ (腐食性、有害性)	鉱さい (有害性)	ばいじん (有害性)	燃え殻 (有害性)	汚泥 (有害性)	感染性 産業廃棄物
-----------------	--------------------	--------------	---------------	--------------	-------------	--------------

低濃度PCB廃棄物の無害化処理

2013年2月21日付で低濃度PCB廃棄物の無害化処理に係る大臣認定を受けました。

低濃度PCB廃棄物とは、平成2年以前に製造された本来PCBが使用されていないはずのトランス・コンデンサなどの中に、非意図的にPCBが混入し廃棄物処理法で

定める基準(PCB濃度0.5mg/kg)を超えるものをいい、高濃度PCB廃棄物と同様に厳重な処分が必要になります。

当社のリバースシステム(焼却施設)が今回低濃度PCBの無害化処理に係る施設として全国10社^{*}うちの1社に認定されました。

*2013年8月31日現在



事業概要

収集運搬事業/その他の事業

収集運搬事業

様々な廃棄物の収集運搬に対応するために、各種車両を保有しております。
廃棄物の性状に応じた車両をご提案させて頂きます。



■産業廃棄物収集運搬許可品目 計15品目

燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	紙くず	木くず	繊維くず
動植物性残渣	鉱さい	ばいじん	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず、コンクリート及び陶磁器くず	がれき	

■特別管理産業廃棄物収集運搬許可品目 計8品目

燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
廃アルカリ	鉱さい	ばいじん	感染性廃棄物



分析センター

複雑化・多様化する廃棄物に対し、「安心・安全」の処理方法をご提案するため自社内で分析を行っています。また、自社排水・排ガスのモニタリング・受入物の性状管理・処理後の無害化確認など、計量証明事業も行っています。

また、当社事業場から発生する排水、処理水、放流水、河川水、地下水、排ガス、燃え殻、ばいじんなどを分析し、自主的な管理を実施しています。



その他の事業

当社では、道路・事業所内清掃や河川浚渫作業も行っています。安心・安全で住みよい地域づくりのお手伝いを致します。

■道路・事業場の側溝清掃、河川浚渫作業

道路・事業所内の側溝にたまつた土砂を回収します。
また、河川の堆積を浚渫し清掃します。



■除草作業

国道・河川敷・私有地の草を刈り上げます。



■道路路面清掃

国道から町道の車道及び歩道の路面を清掃します。





KPI Key Performance Indicator

当社は持続可能な発展をめざし、CSR活動を展開していきます。その上で当社の取り組むべき課題を明確にし、目標を立てより実りのある活動にするために、「KPI(主要業績評価指標)」をこの度策定しました。KPIに基づくCSR活動を実践し、持続可能な社会を目指した活動を進めていきます。

■重要課題とKPI 実績対象期間：2011年11月～2012年10月(第40期)

重点課題	大分類	中分類	KPI	対象範囲
資源の有効活用	廃棄物の削減	一般廃棄物排出重量 (可燃物)の削減	一人あたりの 一般廃棄物排出量削減率	(株)富山環境整備
資源の有効活用	環境配慮行動	PPC用紙の使用抑制	一人あたりの PPC用紙使用量削減率	(株)富山環境整備
資源の有効活用	環境配慮行動	環境配慮印刷の実施	CSRレポートを 環境に配慮した印刷方法	(株)富山環境整備
低炭素社会の実現	CO ₂ 排出量の削減	事務所の 電気使用量削減	事務所の 電気使用量削減率	(株)富山環境整備
低炭素社会の実現	CO ₂ 排出量の削減	工場の 電気使用量削減	生産量あたりの 電気使用量削減率	(株)富山環境整備
低炭素社会の実現	CO ₂ 排出量の削減	自動車燃料の削減	自動車燃料の燃費	(株)富山環境整備
低炭素社会の実現	CO ₂ 排出量の削減	重機の燃料消費量削減	重機の燃費	(株)富山環境整備
社会的課題対応	環境教育	外部への環境教育実施	外部への 環境教育実施件数	(株)富山環境整備
社会的課題対応	コンプライアンス順守	優良産業廃棄物 処理業者の維持	優良産業廃棄物 処理業者の情報公開状況	(株)富山環境整備
社会的課題対応	地域の安全	防犯パトロールの実施	防犯パトロールの 実施回数	NPO法人安全企画センター
社会的課題対応	地域コミュニケーション	地域イベントへの参加	地域イベントへの 参加・協賛	(株)富山環境整備
社会的課題対応	次世代教育	新卒採用	新卒採用実施状況	(株)富山環境整備
社会的課題対応	地域コミュニケーション	清掃活動	清掃活動実施状況	(株)富山環境整備

環境目標達成度				
取り組み内容	第40期目標	第40期実績	第40期評価	第41期目標
●リサイクル分別の徹底 ●紙(雑誌、PPC用紙)のリサイクル ●プラスチックごみのリサイクル ●金属のリサイクル	38期比 3%削減	-25.4%	△	39期比 3%削減
●管理システムの構築及び改善 ●ペーパーレスファックスの検討 ●B4、B5用紙の活用	38期比 2%削減	-29.7%	△	39期比 2%削減
●水なし印刷による印字 ●森林認証紙(FSC用紙)の使用 ●印刷段階で発生するCO ₂ をオフセットする	――	――	――	実施
●ウォームビズ、クールビズの励行 ●エアコンの温度設定(暖房: 22°C以下、冷房: 27°C以上) ●エアコンの使用時の清掃(月1回以上) ●こまめな節電(未使用部屋の消灯、未使用機器の電源OFF) ●高効率照明ランプへの更新	38期比 2%削減	-6.2%	△	39期比 3%削減
●工場の老朽化した設備の更新 ●破碎機の刃の交換頻度を高める ●工場の設備の日常点検強化 ●作業効率・生産効率を高める設備の改造 ●インバーター制御への転換 ●高効率ランプへの更新	38期比 2%削減	-39.0%	△	39期比 3%削減
●無駄なアイドリングの排除 ●車両日常点検実施 ●低燃費車又は低公害車の導入	38期比 2%向上	-5.4%	△	39期比 2%向上
●効率的な運転 ●日常点検実施	38期比 2%向上	43.6%	○	39期比 3%向上
●月1回以上の見学者受入 ●外部環境教育の推進	年間20件以上	46件	○	20件以上
●データの更新	情報公開実施	産廃情報ネット 優良産廃ナビ HPでの情報公開	○	情報公開手段の 追加 (CSRレポート)
●防犯パトロールの実施	実施継続	実施継続	○	実施継続
●社として地域のイベントへ参加・協賛 ●イベントで排出される廃棄物のリサイクル推進	1件	1件 (富山カレー フェスタ2011)	○	2件
●新卒採用の実施 ●業界を担う次世代の育成	実施	実施	○	実施継続
●吉谷事業所周辺道路の清掃活動実施 ●地域や各種団体主催の清掃奉仕活動参加	実施	実施	○	実施継続



環境方針

株式会社富山環境整備は、事業活動に伴う環境負荷を継続的に低減するとともに、地域の環境や社会に対して常に配慮する。また、求められる

リサイクルニーズに速やかに対応し、環境教育活動を推進することによって循環型社会に貢献する。

①廃棄物収集運搬業、廃棄物処理業、リサイクル業、製造業などの事業活動に係る環境マネジメントシステムを維持し、継続的改善によって環境負荷を低減し、汚染の予防に積極的に取り組む。

②循環型社会に対応したオリジナルのリサイクルシステムをとおして、排出事業者や施設見学者へのリサイクルに関する環境教育を推進することによって地域社会に貢献する。

③事業に伴う環境負荷を低減し、二酸化炭素排出量削減に貢献するために、省資源、省エネルギー及び廃棄物の減量化を目的及び目標に取り入れ推進し、達成状況を確認しながら定期的な見直しを行う。

④関連する法令、条例・初規則及び地域の要求事項を遵守し、特に、事業活動に伴い発生する排水及び排ガスは維持管理によって適正に処理し、他の環境要素も含めて周辺の環境監視を継続する。また、優良産廃処理業者を維持するため、関連する情報公開を推進する。

⑤教育や朝礼を通して、この環境方針を全社員に周知徹底する。

⑥環境方針は、一般に公開する。

平成23年11月14日
株式会社富山環境整備
代表取締役 松浦 英樹

ISO14001 環境マネジメントシステムサーベイランス審査

2012年3月2日～3日に当社が認定取得しているISO14001:2004/JIS Q 14001:2004のサーベイランス審査が行われました。

2005年に認証取得したISO14001も7年目に入り、

今回の審査でも不適合事項はありませんでした。環境問題に対して自社でできることを目的・目標に掲げ、廃棄物処理という環境事業と合わせて更なる発展を目指し、継続して取り組んで行きます。

サーベイランス審査結果

■審査の結論

規定された手順の適切性及びその実施状況については容認できるものであることを確認した。また、内部監査及びマネジメントレビューは、概ね適切に実施されており、EMSの継続的な妥当性及び有効性は確保できるものと考えられる。

■審査における不適合、改善要望

今回の審査の結果では不適合は発見されなかった。審査メモとして2件（内良かった事項1件）を観察した。

■審査メモ

A：良かった事項

長年にわたる産業廃棄物の適正処理実績、環境配慮の取り組みや健全な財務体質等により、廃棄物処理法第14条第2項などに規定する優良産廃処理業者に認定され、信頼できる処理業者として社会的信頼を得ている。

B：改善、システムのレベルアップ等のために検討等が望まれる事項

不適合並びに是正処置及び予防処置の「不適合記録」の記載方法と活用については、検討の余地がある。

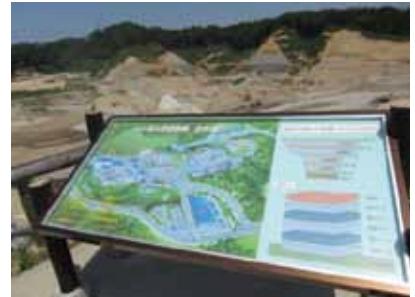
マテリアルバランス



※温室効果ガス排出係数は「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」にて掲載されている情報にて算定しております。

水質測定データ

当社が保有している施設からの排水や周辺環境の水域・地下水・浸出水などの水質測定を定期的に行い、水環境の保全に努めています。



■最終処分場総合排水の水質測定結果 (平成24年6月6日実施)

項目	結果	単位	定量下限値	管理目標
pH	8.1	—	—	5.8~8.6
SS	8	mg/L	—	30
BOD	4.9	mg/L	—	25
COD	30	mg/L	—	160
電気伝導率	190	mS/cm	—	—
全窒素	21	mg/L	—	120
全りん	0.12	mg/L	—	16
大腸菌群数	<30	個/cm³	—	3000
ノルマルヘキサン抽出物 (動植物油脂類)	<1	mg/L	—	5
ノルマルヘキサン抽出物 (鉱物油類)	<1	mg/L	—	30
フェノール類	<0.5	mg/L	—	5
銅	<0.1	mg/L	—	3
亜鉛	<0.5	mg/L	—	5
溶解性鉄	<1	mg/L	—	10
溶解性マンガン	<0.2	mg/L	—	10
全クロム	<0.2	mg/L	—	2
カドミウム	N.D.	mg/L	0.005	0.1
全シアン	N.D.	mg/L	0.1	1
鉛	N.D.	mg/L	0.01	0.1
有機りん	N.D.	mg/L	0.1	1
六価クロム	N.D.	mg/L	0.02	0.5
砒素	N.D.	mg/L	0.005	0.1
総水銀	N.D.	mg/L	0.0005	0.005
アルキル水銀	N.D.	mg/L	0.0005	N.D.
ポリ塩化ビフェニル	N.D.	mg/L	0.0005	0.003
ジクロロメタン	N.D.	mg/L	0.02	0.2
四塩化炭素	N.D.	mg/L	0.002	0.02
1,2-ジクロロエタン	N.D.	mg/L	0.004	0.04
1,1-ジクロロエチレン	N.D.	mg/L	0.02	1
シス-1,2,-ジクロロエチレン	N.D.	mg/L	0.04	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	N.D.	mg/L	0.0005	3
1,1,2-トリクロロエタン	N.D.	mg/L	0.006	0.06
トリクロロエチレン	N.D.	mg/L	0.002	0.3
テトラクロロエチレン	N.D.	mg/L	0.0005	0.1
1,3-ジクロロプロペン	N.D.	mg/L	0.002	0.02
チウラム	N.D.	mg/L	0.006	0.06
シマジン	N.D.	mg/L	0.003	0.03
チオベンカルブ	N.D.	mg/L	0.02	0.2
ベンゼン	N.D.	mg/L	0.01	0.1
セレン	N.D.	mg/L	0.01	0.1
アンモニア,アンモニア化合物,亜硝酸化合物及び硝酸化合物	9.0	mg/L	1	200
ふつ素	0.9	mg/L	0.1	15
ほう素	2.2	mg/L	0.1	50
1,4-ジオキサン	N.D.	mg/L	0.05	0.5
ダイオキシン類	—	pg-TEQ/L	0.05	10

低公害車の導入

事業を支える廃棄物収集運搬車両は使用段階による環境負荷が多くかかっています。環境負荷を低減させる活動の一つとして、低公害車の導入を進めています。

排ガスレベルと燃料低減レベルの2分野で環境に配慮した運搬車の割合を上げることを目標に、継続的な導入を進めていきます。



■導入目標・状況

	目 標	状 況
排ガスレベル	平成27年3月末までに全保有台数のうち 平成17年基準低排ガス重量車の占める割合 40% 以上	○
燃費低減レベル	平成27年3月末までに全保有台数のうち 平成27年度丁排出ガス重量車の占める割合 30% 以上	○

LED照明の設置

ボトリング事業部の工場内照明はLED照明を導入しています。LED照明は通常の水銀灯に比べ、消費電力が少なく水銀も含まれていないため、環境にやさしい照明です。

今後も隨時導入を進めています。



環境啓発活動

当社が保有している施設やシステムを地域の方々にも見て頂き、環境についての知識を深めてほしいとの思いで施設見学等を含めた環境教育を行っています。

第40期は25の団体、述べ396名の方に環境啓発

活動を実施しました。自治体から地域の婦人会・老人会・学生など多くの方々に当社まで足を運んでいただき、実際の廃棄物処理施設の見学を通してリサイクルの問題点などを知っていただく活動を行っています。

■活動実績（2011年11月～2012年10月）

団体名(敬称略)	人 数
射水市庄西地区	35名
KNBラジオ放送 ECOバスツアー	40名
砺波市安川地区老人会	40名
富山市わんぱくエコキッズ探検隊	41名
岐阜県飛騨市古川町生活学校	12名
計25団体	計396名



防犯パトロール(NPO法人 安全企画センター)

平成16年3月に「住みよい地域社会づくりに貢献しよう!」との目的で、NPO法人安全企画センターを設立し、社員やOB等により防犯パトロール隊を結成しました。

平日の通学路で登下校時間帯の2~3時間を重点的にパトロールを実施しているほか、カギかけキャンペーンや

防犯チラシの配布などに積極的に活動しています。

近年この活動が認知され、パトロールカーを見かけた児童の保護者から敬礼されたり各警察署から防犯活動の協力依頼がくるようになり、隊員たちのやりがいにつながっています。さらに住みよい地域になるよう防犯パトロールを続けていきます。



■表彰・受賞実績

年	団体名	受賞名
2010年	財団法人全国防犯協会連合会	社会安全貢献賞
2010年	富山県	安全なまちづくり・とやま賞 特別優良賞
2011年	富山西警察署・富山西防犯協会	感謝状
2012年	ボランティア活動推進富山県民会議	ボランティア奨励賞



清掃活動

NPO法人安全企画センターが実施している防犯パトロールに合わせて、国道や県道・農道などに不法投棄されている空き缶やごみ拾いを実施しています。

また、吉谷事業所周辺道路の清掃、地域や各種団体主催の清掃奉仕に企業として積極的に参加しています。



地域イベントに協賛

富山地域をもっと元気にするために、当社では富山県内で開催されるイベントに協賛しています。

2012年9月22日、23日に富山市のグランドプラザで開催された「富山カレーフェスタ2012」もその中の一つです。富山県はカレー店の世帯カバー率が全国3位ということで、「カレーで富山県を盛り上げよう!」と、2011年よりスタートしたイベントです。富山環境整備は、イベントで出たカレー皿やスプーンなどのごみを分別して回収し、自社の処分場にて処分しました。今後も廃棄物処理業という事業を活かしたイベント協賛を引き続き行ってまいります。

また、農業分野では「14歳の挑戦」という富山県が実施している活動へ参画しています。

中学2年生を対象に1週間学校外で職場体験や福祉・ボランティア活動等を行い、規範意識や社会性を高め、成長期の課題を乗り越えるたくましい力を身につけることを目指し、平成11年度よりスタートした活動です。当社では、農業部門において受け入れを行いました。



■協賛イベント実績

年	イベント名	内 容
2012年 7月	14歳の挑戦	中学生の就業体験
2012年 8月	北日本新聞納涼花火大会	花火大会後の清掃ボランティア
2012年 9月	富山カレーフェスタ2012	イベント時に発生したごみの収集運搬・処分
2012年10月	富山市一般廃棄物収集運搬業協会 第11回清掃ボランティア	清掃ボランティア

Jリーグ「カターレ富山」のオフィシャルスポンサー

当社は富山のJリーグチーム「カターレ富山」のオフィシャルスポンサーとしてスポーツ貢献をしております。

カターレ富山は現在J2リーグで活躍中の、富山に密着したサッカーチームです。このカターレ富山を

応援するために、一般廃棄物の収集運搬車両などにステッカーを貼っています。

カターレ富山が地域の皆様にもっと愛され、将来の子供たちの役になるようこれからも応援していきます。



農業事業を進めています!

当社では工事部を中心に農作物の栽培を行っています。

農業事業に取組むきっかけとなったのは、富山環境整備ができた当初、先代が地域住民の方々と交わした約束です。廃棄物の処分場という地域の方々にご迷惑をおかけする産業に踏み出そうとした昭和60年ごろに「処分場の埋め立てが終わった後は跡地利用で雇用を生み出してほしい」との要望がありました。

この富山という土地や自然・資源を考えた時に、農業で雇用を生み出し地域活性化できないかと考え、平成13年より農業事業に着手しました。

まずははじめに、平成13年12月より吉谷事業所内でもいちごのハウス栽培を開始しました。現在は「恋苺」という静岡県産の品種を栽培しており、甘く赤い果実が実っています。豊富なミネラル水と肥料により、良質ないちご栽培が可能で、高床式水耕栽培・加湿栽培システムで作業効率を大幅向上させています。

下吉川事業所にある「スマートファーム」も農作物の栽培を行っています。その中の一つ、トマトの栽培は環境配慮型農法「アイメック農法」にて栽培しています。アイメック農法とは、特殊なフィルムを活用し水分や肥料など適切な量で栽培できる農法のため、無駄がない環境配慮型農法です。

また、栽培しているハウスには電気式ヒートポンプを導入し、環境負荷が低いエネルギーでの栽培を行っています。冬場は1~2mの積雪がある地方ですが、アイメック農法と電気式ヒートポンプでの栽培により糖度9.5のトマトが実り、好評いただいております。

当社ではこの富山市地域における農業が、将来的に地場産業として確立し雇用を生み出し、公益として地域貢献できるよう、これからも農業事業に力を入れていきます。





経済 Economy

人財育成～資格取得奨励～

富山環境整備では各部署で必要な資格取得を奨励しています。（保有資格数：121 延べ保有資格者数：1276名）

1級土木施工管理技士	安定型最終処分場技術管理者	高所作業車安全特別教育	大型2種
2級(第3種)建設機械施工技士	運行管理者	高所作業車運転運転教育	大特
2級管工事施工管理技士	下水道管路管理専門技士登録	産業洗浄(高圧洗浄作業)技能士	第2種ボイラー・タービン主任技術者
2級建築施工管理技士	下水道管路技士(主任技士)	産業廃棄物最終処分場技術管理者	第一種衛生管理者
2級土木施工管理技士	下水道管路技士(清掃、調査専門技士)	産業廃棄物焼却施設技術管理者	第二種酸素欠乏危険作業主任者技能講習
EPR工法技術施工認定	下水道排水設備工事責任者技術者	産業廃棄物中間処理施設技術管理者	第二種電気工事士
ISO14000S内部監査員養成	刈払機取扱作業者特別教育	産業用ロボット	地山の掘削作業主任者技能講習
ISO9000S内部監査員養成	環境計量士 登録	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	貯水槽清掃作業監督者講習会
ISO9000品質マネジメントシステム研修	環境社会検定試験(ECO検定)	酸素欠乏危険作業特別教育	締固め用機械特別教育
JGAP指導員	監理技術者資格者	自動車検査員教習	電気工事士
PCB廃棄物の収集運搬業作業従事者講習会	危険物取扱者(乙種1類)	自動車整備士(二級ガソリン)	土止め支保工作業主任者技能講習
アーケン接合作業業務特別教育	危険物取扱者(乙種2類)	自動車整備士(二級ディーゼル)	土壤環境保全士
エネルギー管理講習	危険物取扱者(乙種3類)	自由研削といし取替試運転者特別教育	動力プレス・シャー取扱者特別教育
ガス溶接技能講習	危険物取扱者(乙種4類)	車両系建設機械(整地、運搬、積込用及び掘削用)	特殊無線技士(無線電話甲)
クレーンの運転業務特別教育	危険物取扱者(乙種5類)	車両系建設機械(解体用)	特定化学物質等作業主任者技能講習
クレーン運転士	危険物取扱者(乙種6類)	主任計量者(熱量)	特定高圧ガス取扱主任者
けん引	危険物取扱者(乙種内類)	臭気判定士	特別管理産業廃棄物管理責任者
ごみ処理施設技術管理者	救命技能認定証	除雪機械管理施工技術講習	特別管理産業廃棄物収集運搬課程更新許可講習
ダイオキシン類関係公害防止管理者	玉掛けの業務特別教育	除雪機械点検設備講習	特別管理産業廃棄物処理業区分課程更新許可講習
はいい作業主任者技能講習	玉掛け技能講習	小型移動式クレーン運転技能講習	毒劇物取扱責任者
フォークリフト運転技能講習	型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習	小型車両系建機(整地用3t未満)	破碎・リサイクル施設技術管理士
プレス機械作業主任者技能講習	建設業経理事務士2級	床上操作式クレーン技術講習	不整地運搬車運転特例技能講習
ボイラー取扱作業主任者技術講習	現場管理者統括管理講習	職長・安全衛生教育	普通救命講習
メンタルヘルス(管理監督者)指針基礎研修	公害防止管理者(水質1種)	職長教育	普通免許
リスクアセスメント担当者研修会	公害防止管理者(水質4種)	水道工事配管技士	副安全運転管理者
安全運転管理者	公害防止管理者(騒音・振動)	石綿取扱い作業従事者特別教育	粉じん作業特別教育
安全衛生推進者養成講習	公害防止管理者(大気1種)	足場の組立て等作業主任者技能講習	保安業務員講習
安全誘導員選任講習	甲種防火管理者講習	大型	有機溶剤作業主任者講習

リバース工場内LIVE映像公開

当社では排出事業者様から委託した廃棄物の処理を適正に行い情報開示するためにリバースシステム工場内のLIVE映像をホームページで公開しています。



株式会社 富山環境整備
Recycle Corporation
TOYAMA
Environmental
considerations Inc.



リバースシステム原料製造工場



リバース原料化施設(造粒機出口の状況)



リバース原料化施設(製造前の状態)

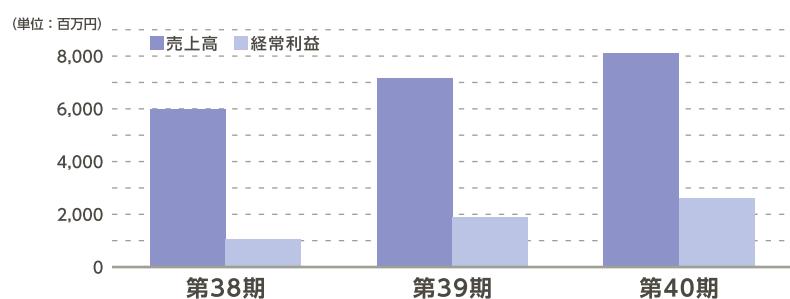
財務データ

■売上高 (単位：百万円)

第38期	第39期	第40期
5,935	7,090	8,019

■経常利益 (単位：百万円)

第38期	第39期	第40期
1,039	1,878	2,572





株式会社富山環境整備

〒939-2638 富山県富山市婦中町吉谷3-3

TEL.076-469-5356 FAX.076-469-5635

E-Mail:yositani@tks-co.jp HP:<http://www.tks-co.jp>



この印刷物は、見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用し、
自然環境に配慮して植物油インキを使用し、
環境にやさしい水無し印刷で制作しています。